

① そもそもコンプライアンスって？

簡単に言うと“コンプライアンス”って何？

よく聞く言葉ですけど、ちょっとイメージがわかりません。簡単に言うとコンプライアンスって何なんですか？



一言で言うと、「法令を守り、社会通念、社会倫理等に反する行為をしない」ということです。

法令は読めばわかると思うんですが、社会通念、社会倫理等って、明文化されてるんですか？



されてません！（キッパリ）でも、社会の中で、多くの国民がそうあってほしい、当たり前だ、と思っていることです。図にすると次のようなイメージです。

- 社会通念、社会倫理等（社会のルール）
- 国民の視点
- 防衛省・自衛隊への期待

- 明文化されていない
- その時々
の社会情勢等により変化

明文化
されている

法令等
(訓令等含む)

法令とかになっていないことも守らなきゃダメなんですか。ちょっと難しくないですか？



ん？そんなに難しく考えなくても大丈夫ですよ。社会通念、社会倫理等に反しないということは、「自分が人からされて嫌なことをしない」と考えるとわかりやすいです。これは道徳を守ることでもあって、実は、我々サービスの宣誓で誓っています。よもやお忘れではないですよね？



① そもそもコンプライアンスって？

サービスの宣誓

宣誓

私は、我が国の平和と独立を守る自衛隊の使命を自覚し、**日本国憲法及び法令を遵守し、一致団結、厳正な規律を保持し、常に徳操を養い、人格を尊重し、心身を鍛え、技能を磨き、政治的活動に関与せず、強い責任感をもつて専心職務の遂行に当たり、事に臨んでは危険を顧みず、身をもつて責務の完遂に務め、もつて国民の負託にこたえることを誓います。**

(自衛隊法施行規則第39条)

入隊直後で右も左もわからないときに、なんか署名させられたような気がするなあ。徳操って意味わかんないし。



そう！まさにその徳操がキーポイントなんです！「**固く守って変わらない道德心**」って意味です。道德心は「善悪を判断し、善を行おうとする心」のこと。つまり、「固く守って変わらない善を行おうとする心」を常に養っていきます、って誓っているんですね♪



そうか！**徳操を養うよう心掛けていれば「法令や社会通念、社会倫理等に反する行為をしない」**ことに自然と通じるってことですね。



そのとおりっ！コンプライアンスの基礎はここなんです。宣誓内容を改めて見返してみると、当たり前だけれど、今でも変わらず大切なことばかりなんですよね。時々読み返して、初心に立ち返るのもおすすめです。



① そもそもコンプライアンスって？

“コンプライアンス” ってどうして重要なのか？

どうしてコンプライアンスが防衛省・自衛隊で重要なんですか？



防衛省・自衛隊は、我が国の安全を保つために強力な武器を保有する実力組織です。強い力を持つからこそ、法令や社会のルールを守る規律正しい組織として、国民から信頼されることが重要なんです。



確かに、安全保障環境が厳しさを増しているのに、不祥事を起こしたりしては、「どうなってるんだ!？」
「大丈夫か？」って不安になりますよね。
しかも、民間企業でもコンプライアンスへの取組が普及していて、国民の意識も高まっていますし。



そうなんです。ひとたび不祥事が発生すると、国民からの信頼を失い、円滑な任務達成ができなくなってしまうおそれがあります。日頃からの取組が大切なんです。



強力な兵器を保有する実力組織
規律正しい組織としての信頼が不可欠

防衛省・自衛隊に対する
国民からの期待の増大

防衛省・自衛隊に対する信頼の維持・向上を図る
取組として、コンプライアンスの啓発・推進は重要

① そもそもコンプライアンスって？

なぜ、不祥事・不正が発生するの？

素朴な疑問なんですけど、なぜ、不祥事って発生するんでしょうか？



それについては、「不正のトライアングル」という理論で御説明しましょう。米国の組織犯罪研究者ドナルド・R・クレッシーが発表したもので、**不正は、動機、機会、正当化の3つがそろった時に発生する**という考え方です。



「動機・プレッシャー」

不正を行うしかないという考えに至った心情



不正のトライアングル

「機会」

不正をいつでもできる職場環境

「正当化」

「良心の呵責（かしやく）」を乗り越えてしまうこと

現実

裏を返せば、**どれか一つを取り除けば、未然に防止できる**ということです。次のような防止策が考えられます。

動機
プレッシャー

動機・プレッシャーの除去・軽減

例：上司や同僚に気軽に相談できる職場環境の構築など

機会

機会の剥奪・監視（牽制）の強化

例：日頃の点検を確実に実施したり、監査や通報体制が整備されていることの周知など

正当化

不正を正当化できない環境の醸成・維持

例：コンプライアンス教育等によって徳操を養う、制度上の不具合を改善することなど

不正のトライアングル

不正の防止策

① そもそもコンプライアンスって？

明文化されていない「社会通念、社会倫理等（社会のルール）」を守るにはどうしたらいいのか？

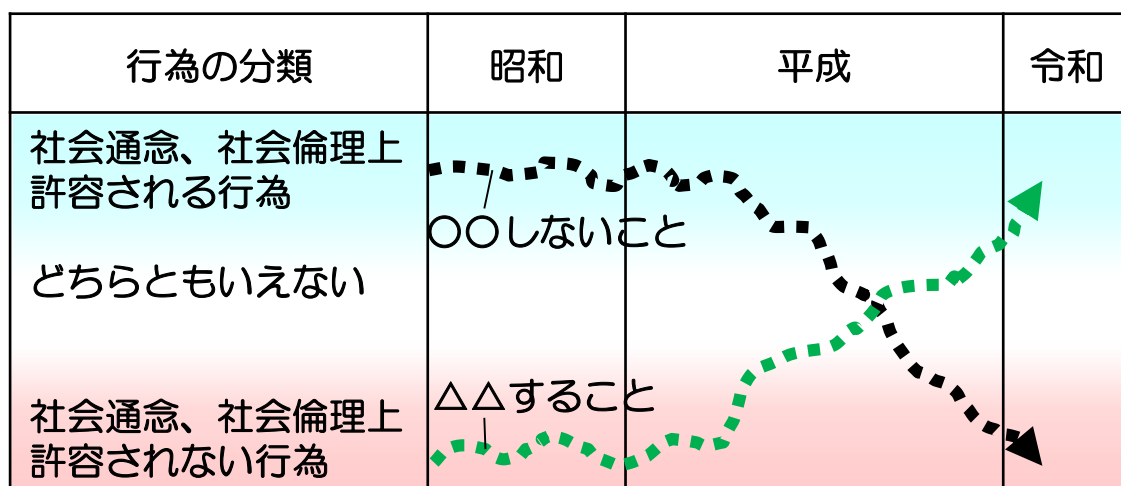
色々聞きましたが、要するに社会通念、社会倫理等に反する行為をしないためにどうしたらいいんですか？



社会通念、社会倫理等に反する行為をしないためにやっていただきたいことは、二つあります。

一つは、常に変化していく防衛省・自衛隊に求められる役割を敏感に把握することです。

「社会通念、社会倫理等（社会のルール）」は常に変化（イメージ図）



確かに、行為の概念自体は変わっていないのに、社会における受止め方が大きく変化することありますね。変化を把握する方法はありますか？



まずは、法令等で定められている罰則等について、その理由やなぜそう定められたかについて考えてみましょう。これらの明文化されたルールには、それぞれが守ろうとする権利・利益や、ルール化しなければならなかった背景があります。

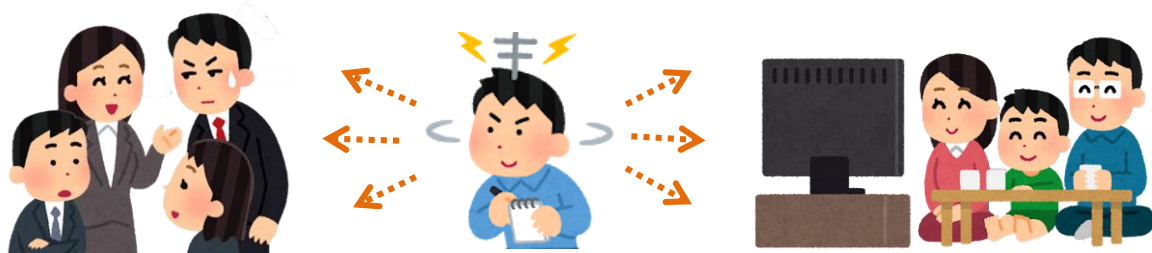


① そもそもコンプライアンスって？

そういえば、飲酒運転の厳罰化、国や事業主のパワハラ防止、国家公務員の超過勤務時間の上限設定などが、ここ数年で新たに定められたと聞きました。確かに、どれもきっちり歯止めをかけてほしいと思うことばかりですね。



具体的な法令等を理解することで、明文化されていない場面においてもどういう事柄に配慮しなければならないか、が判ってきます。上司や同僚と意見交換するのも有益だと思いますよ。
また、ニュースなどを見たり、家族や友人などとの会話の中から、社会の中でどのようなことに関心が向けられ、どのように見られているかなどについて、幅広く関心を持つことが大切です。



さて、二つ目にやっていただきたいことは、「自分をうまくコントロールすること」です。

「自分をうまくコントロールする」というのは難しく感じるかもしれませんが、社会人として法令等を遵守し、他人に配慮した行動をとるということであり、日々意識をしていれば難しいことではありません。



① そもそもコンプライアンスって？

法令等を守って、他者に配慮、ですね。それならだいたいはできているつもりです。ただ、人目がないときはちょっと・・・。



確かに、自分目線だけで考えると感情や欲求がどうしても強く影響しちゃうこともあると思います。

そんなとき！国民の視点に立って、自分たちに何が求められているのかを考えることが、判断の助けになります。それを端的にまとめたものが、本書の冒頭に紹介されているコンプライアンス・テストです。

コンプライアンス・テスト

1 家族に胸を張って話せますか？

⇒ もし、一番身近な家族に対しても話せないことであれば、思いとどまり、上司その他、適切な者に相談すべきでしょう。

2 見つからなければ大丈夫とっていませんか？

⇒ 隠蔽は事実上困難です。隠蔽が発覚した場合は、更に事態が悪化します。

3 国民としてニュースで見聞きしたらどう思いますか？

⇒ 身勝手な言い訳で国民の信頼を失うと思うのであれば、思いとどまるべきです。

迷ったら、呪文のように唱えましょう!!

コンプライアンス・テストを日頃から繰り返すことは、「善悪を判断し、善を行おうとすること」ですので、実は「徳操を養う」ことにつながっているんですよ。

なるほど！さっき話には出たものの、どうやって徳操を養えばいいんだ？とっていたんです。社会の変化に目を配りながら、法令等を守り、他者に配慮しつつ、コンプライアンス・テストを繰り返せば、鬼に金棒ですね！



これがレベルアップってやつでしょうか。